

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名 一般国道188号 <small>ふじゅうながの</small> 藤生長野バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中国地方整備局											
起終点 自： <small>やまぐち いわくに ふじゅうまち</small> 山口県岩国市藤生町 至： <small>やまぐち いわくに ながの</small> 山口県岩国市長野	延長 7.6 km												
事業概要 一般国道188号は、 <small>やまぐち いわくに</small> 山口県岩国市から、 <small>やまぐち くだまつ</small> 山口県下松市までを結ぶ延長約72kmの主要幹線道路である。 <small>ふじゅうながの</small> 藤生長野バイパスは、 <small>やまぐち いわくに ふじゅうまち やまぐち いわくに ながの</small> 山口県岩国市藤生町と山口県岩国市長野を結ぶ延長7.6kmのバイパスである。事業目的は、産業振興を支援するネットワークの強化、交通の円滑化、交通安全の確保、災害時に強いネットワークの確保を図るものである。													
H31年事業化 H30年度都市計画決定		R3年度用地着手											
全体事業費 約370億円		事業進捗率 約5%											
		供用済延長 0.0 km											
計画交通量 10,500 ~ 15,900台/日													
費用対効果分析結果 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C (3便益)</td> <td style="width: 20%;">総費用 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 20%;">総便益 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 40%;">基準年</td> </tr> <tr> <td>事業全体 1.3</td> <td>287/306億円</td> <td>406/406億円</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">令和5年</td> </tr> <tr> <td>残事業 1.4</td> <td>事業費：263/281億円 維持管理費：25/25億円</td> <td>走行時間短縮便益：373/373億円 走行費用減少便益：29/29億円 交通事故減少便益：3.4/3.4億円</td> </tr> </table>	B/C (3便益)	総費用 (残事業/事業全体)	総便益 (残事業/事業全体)	基準年	事業全体 1.3	287/306億円	406/406億円	令和5年	残事業 1.4	事業費：263/281億円 維持管理費：25/25億円	走行時間短縮便益：373/373億円 走行費用減少便益：29/29億円 交通事故減少便益：3.4/3.4億円		
B/C (3便益)	総費用 (残事業/事業全体)	総便益 (残事業/事業全体)	基準年										
事業全体 1.3	287/306億円	406/406億円	令和5年										
残事業 1.4	事業費：263/281億円 維持管理費：25/25億円	走行時間短縮便益：373/373億円 走行費用減少便益：29/29億円 交通事故減少便益：3.4/3.4億円											
感度分析の結果 <small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=1.2~1.5 (交通量±10%) <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=1.2~1.6 (交通量±10%) <small>(事業全体)</small> 事業費：B/C=1.2~1.5 (事業費±10%) <small>(残事業)</small> 事業費：B/C=1.3~1.6 (事業費±10%) <small>(事業全体)</small> 事業期間：B/C=1.2~1.4 (事業期間±20%) <small>(残事業)</small> 事業期間：B/C=1.3~1.5 (事業期間±20%)													
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待される。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。 ・ <small>しんいわくに</small> 新岩国駅（新幹線駅）へのアクセス向上が期待される。 ・ <small>いわくにきんたいきょう</small> 岩国錦帯橋空港（共用飛行場）へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・ <small>いわくに</small> 岩国港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される ③国土・地域ネットワークの構築 ・日常生活中心都市間を最短時間で連絡するルートを構成する。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 ④個性ある地域の形成 ・ <small>きんたいきょう</small> 錦帯橋（R4観光入込客数：約38万人/年）等へのアクセス向上が期待される。 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・第三次救急医療機関（ <small>いわくに</small> 岩国医療センター）へのアクセス向上が期待される。 ⑥災害への備え ・山口県の第一次緊急輸送道路に指定されている（一般国道188号）。 ・特殊通行規制区間を解消する。（波浪等による路面冠水区間） ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NOx排出量の削減が期待される。 ・SPM排出量の削減が期待される。 ⑨その他プロジェクトとの関係 ・やまぐち維新プラン（R4.12）において「迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網」を形成する道路として位置付けられている ・第2次岩国市総合計画（H31.3）において「幹線道路の整備」対象路線として位置付けられている。													

関係する地方公共団体等の意見

やまぐち

山口県知事の意見：

ふじゅうながの

一般国道188号藤生長野道路の「対応方針（原案）」案に対して、異存なし。

引き続き、コスト縮減等を考慮の上、一日も早い供用に向け、より一層の事業促進に努めていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

- ・ 事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。
- ・ 審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

やない ひらお

道路事業では、国道188号柳井・平生バイパスが令和2年度に事業化した。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和5年3月末時点で事業全体の進捗率は約5%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在は、調査・設計、用地買収、整備工事を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。